



アメリカを漢字で書くと、なぜ米なの

亜米利加という当て字を省略して、米国という

アメリカを漢字で書くと、当て字で「亜米利加」と表します。この中の「米」という字だけをとりだして、アメリカを「米」、「米国」と省略して表すようになりました。今でも新聞や雑誌には、米、米国という表現がたくさん見られます。

日本とアメリカの関係という意味で、「日米関係」などと表現します。また、日本からアメリカに行くことを「渡米」といいます。

英はイギリス、仏はフランス、独はドイツ

現在、外国の国名はカタカナで書くのが一般的ですが、漢字で国名を書いていた時代のなごりで、英・仏・独などと書く習慣も残っています。英はイギリス（英吉利）、仏はフランス（仏蘭西）、独はドイツ（独逸）を表します。

日本の南にあり、日本と関係が深いオーストラリアは、「豪」という字をあてています。今でも、豪州などといったりしています。

そのほか、ロシアが「露」、オランダが「蘭」、インドが「印」などと書きます。また、ヨーロッパをさして、「欧州」ともいいます。ヨーロッパやアメリカという意味で、「欧米」といいます。新聞を読むと、「欧米の先進諸国と日本の関係は、経済的なつながりが、いっそう強くなっている」などという表現がよくみられます。（監修・田代 脩）

